新規申告の記入例2（明細書）

下記の例にならい各項目に内容を記入してください。

令和6年度

種類別明細書（増加資産・全資産用）

所有者コード ※

所有者名：⑦ 資産　太郎

1 枚のうち 1 枚目

行番号	①資産の種類	資産コード	②資産の名称等	③数量	④取得年月 年号	年	月	⑤取得価額 (イ)	⑥耐用年数	減価残存率 (ロ)	価額 (ハ)	課税標準の特例 率	コード	※課税標準額	⑧増加事由	摘要
01	1		駐車場舗装（アスファルト）	1	5	05	02	700000	10	0.					(1)・2・3・4	
02	1		看板	1	5	05	02	300000	10	0.					(1)・2・3・4	
03	2		太陽光発電システム	1	5	04	06	20000000	17	0.					(1)・2・3・4	
04	6		冷蔵庫（〇〇電機製）	1	5	03	11	150000	6	0.					1・(2)・3・4	中古品取得
05	6		食器一式	1	4	30	11	125000	2	0.					1・(2)・3・4	中古品取得
06										0.					1・2・3・4	
07										0.					1・2・3・4	
20										0.					1・2・3・4	
			小計					7825000								

注）中古品取得であっても、資産本体の年数ではなく、あくまで所有者が中古資産を購入した時期が対象となります。

「償却資産申告書（償却資産課税台帳」の各項目に取得価格を合算して転記してください。

①「資産の種類番号」
1「構築物」
2「機械及び装置」
3「船舶」
4「航空機」
5「車両及び運搬具」
6「工具、器具及び備品」
の中から該当するも数字をご記入下さい。

②「資産の名称及び規格等」

③「資産の数量」

④「取得年月」
年号は
3「昭和」
4「平成」
5「令和」
の中から該当する数字をご記入下さい。

⑤「当該資産の実際の取得価額」

⑥「資産の耐用年数」
別紙「業種別主な償却資産と耐用年数」を参考に、耐用年数をご記入下さい。

⑦「所有者名」

⑧「増加事由」
資産が増加したことについて、該当する「増加事由の番号」を〇で囲んで下さい。
1「新品取得」
2「中古品取得」
3「移動による受入れ」
4「その他」

※詳細については同封の「固定資産税（償却資産）の手引」をご覧ください。